

劇場で考える ～わかりあうこととは～

参加者募集

久留米シティプラザで12月に上演する『わかろうとはおもっているけど』は、妊娠をきっかけにすれ違うカップルの姿を通して、日常生活にひそむ性別による役割分担の意識や、社会のしくみに問いを投げかける作品です。多様な価値観が交差する時代に、他者とどのように理解しあい、共に生きていくか。プレレクチャーでは、「わかりあうこと」をテーマに、様々な立場からヒントを探ります。ゲストには、ジェンダー・セクシュアリティの視点から社会的排除の現状について調査研究を行っている九州大学大学院講師の井上智史氏と、うきは市でまちの人々同士のコミュニケーションの場づくりを通してよりよい地域社会を目指す活動をしている吉岡麻衣氏をお迎えします。一緒に“あるべき未来像”を考えてみませんか。

2025. 10. 19 日 14:30 ~ 16:00

会場 久留米シティプラザ 中会議室 (久留米市六ツ門町 8-1 4 階)

料金 無料 (要申込)

定員 30 名 (先着順)



申込方法 次の内容を記載して電子申請・郵送のいずれかで、お問合せ先までお申込みください。

■氏名 (ふりがな) ■住所 ■メールアドレス ■電話番号 ■プレレクチャー参加希望

※電子申請は、下記 URL か二次元バーコードからアクセスください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/Lv9bdQfe>



締切

10/18

(土)

※参加者の個人情報については、当事業のために使用し、その他の目的には使用しません。

〈お問合せ〉久留米シティプラザ 事業制作課 / 〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1

e-mail : kcp-j@city.kurume.lg.jp TEL : 0942-36-3000 (10:00~19:00 休館日を除く)

ゲスト

井上智史

(九州大学大学院人間環境学研究院講師、前久留米市男女平等政策審議会長)

福岡県生まれ。専門は社会学。ジェンダー／セクシュアリティの視点から現代社会における社会的排除の現状について調査研究を行ってきた。九州大学大学院人間環境学府博士後期課程単位修得退学、中村学園大学短期大学部講師を経て、2023 年 4 月より現職。共著書に『ジレンマの社会学』(2020 年、ミネルヴァ書房)、『入門・福祉社会学』(2023 年、学文社) など。

吉岡麻衣

(言語聴覚士、ことばの教室ことりんく代表、どげんね! うきは共同代表)

北九州市生まれ。言語聴覚士として医療や福祉の現場で経験を重ね、うきは市にて「ことばの教室ことりんく」を開業。ことばの発達やコミュニケーションに不安のある子どもたちがのびのび自分を表現できるよう支援。町の未来を考える市民団体「どげんね! うきは」の共同代表としても活動し、子どもたちが自分らしく社会とつながることを目指している。

進行

長津結一郎

(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(単著。九州大学出版会、2018 年)。

【公演情報】

知る／みる／考える 私たちの劇場シリーズ vol.8

贅沢貧乏「わかろうとはおもっているけど」

妊娠を機にすれ違うカップルの姿を通して、現代社会における性別役割や常識に問いを投げかける演劇作品。実生活でも起こり得るリアルな対話から、身体的・社会的な性差に関する固定観念やズレが浮き彫りになっていく点が見どころ。

日時 | 2025 年 12 月 6 日 (土) 18:00 開演、7 日 (日) 13:30 開演

〈上演時間 70 分程度 (休憩なし)〉

会場 | 久留米シティプラザ C ボックス

チケット発売 9 月 21 日 (日) 10:00 ~

